

令和6年3月13日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

総務企画常任委員会副委員長 堀江清一

予算審査結果報告書

本委員会に令和6年3月5日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和6年3月6日（水）及び7日（木）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室
- 3 出席委員 堀江清一、青木敏久、渋井由放、平塚英教
- 4 説明のための出席者
会計管理者兼会計課長 高田勝、参事兼総合政策課長 菊池義夫、参事兼まちづくり課長 小原沢一幸、参事兼総務課長 佐藤博樹、税務課長 川俣謙一、議会事務局長 菊地唯一、他関係職員
- 5 審査事項
本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の令和6年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出予算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、一部反対意見はあったものの、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

総合政策課

- ・今後見込まれる大規模事業に必要な財政負担を考慮すると、基金の運用益は市民サービスの貴重な財源のひとつであるため、関係各課と連携し、安全かつ収益性の高い基金の運用を図られたい。

- ・デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進においては、市民のニーズに合ったサービスの展開による市民を誰一人取り残さない配慮が重要であるが、まずは本市が考えるDXを市民に理解していただく必要があるため、きめ細やかな周知啓発を図るとともに、関係各課と連携した実装作業の着実な推進を図られたい。

まちづくり課

- ・バスやデマンド交通等の利便性向上やJR烏山線存続のための抜本的な解決は極めて難題ではあるが、各種事業の効果検証を行い、投資効果の高い施策の推進を図られたい。
- ・ふるさと応援寄附金については、利用できるポータルサイトを増やして利便性を向上させるなど工夫を凝らし、本市への寄附の確保に努め、総合的に本市の魅力を全国に発信するよう図られたい。
- ・個人向け太陽光発電施設等の導入を支援するエネルギー対策事業は、脱炭素化を推進するとともに災害に強いまちづくりに寄与するため、事業の推進に期待する。また、削減した二酸化炭素をカーボン・オフセットに活用するなど実効性のある脱炭素社会を実現できるよう調査研究を図られたい。
- ・学生応援事業については、市外で生活する本市出身の学生の生活を支援するとともに、Uターンによる地元就職を促進する有用な事業である。物資等を送った後も、その学生にSNS等で本市のPRを担ってもらい継続的な交流を促すなど、更なる事業拡充を図られたい。

総務課

- ・財産管理において、日々の努力により公共施設が適正に維持管理されているが、利用が著しく乏しい場合は、普通財産のみならず行政財産であったとしても関係各課の適正な運用を促し、低未利用土地等の有効活用を図られたい。
- ・新採用職員の確保においては、就職情報サイトを活用した様々な情報発信を行い市内外から優秀な職員の獲得を図るとともに、本市PRや移住定住の促進を図られたい。

税務課

- ・固定資産税における大口滞納については、日々の徴収事務の努力により近年解決に至った事案もあるが、今後も公平性を保つため、関係機関と連携し徹底かつ速やかな滞納処分に努め、徴収率の向上を図られたい。